



**アルケルで  
身体拘束ゼロへ挑戦!!**

平成12年度に発足した介護保険法の導入により、『緊急やむを得ない場合(切迫性・非代替性・時性)』を満たさない身体拘束は原則禁止とされ、高齢者虐待に該当するとされています。皆様の負担を軽減していただき、より安心して介護に取り組んでいただける介助用品を考案いたしました。身体拘束ゼロへ向けた取り組みの二環としてぜひ活用ください。



**Point.1**  
介護職員の  
負担軽減



**Point.2**  
介護事故の  
低減



**Point.3**  
リスク  
マネジメント



**アルケルで拘束のないケアの実現へ**

京都認定商品(チャレンジ・バイ認定商品)

歩行器補助シートRKL「アルケル」は京都府認定商品です。一般商品との差額の1/2以内が助成されます。

**RKL** Rehabilitation  
with Kindly Love

<http://www.rkl.jp>



歩行器補助シート

# アルケルで拘束のないケアの実現へ!!

## アルケルとは…

介護負担軽減のために理学療法士が考案した介助用品

アルケルは汎用の歩行器に装着するだけで転倒リスクを防止できる、歩行器補助シートです。下肢筋力の低下、バランスが不安定などの理由で歩行が不安定な方の歩行練習補助具として、より安全にご使用いただけます。

□実用新案登録3204701号  
□商標登録5773966号



転倒リスクを防止!!

だから歩行器利用者、介護従事者、双方が安心!!



## アルケルが介護現場で必要とされる理由

### 理由1 サービス利用者の安全確保と機能訓練の効果を向上します。

介護サービス事業所の事故で発生件数が最も多いのは「転倒」です。また転倒による骨折が要介護度を悪化させています。アルケルは転倒リスクを防止するほか、転倒予防の「後ろ歩き歩行練習」が可能となります。転倒リスクが少なくなるため身体拘束も減少します。

### 理由2 介護職員の介護負担を軽減し、職場定着を支援します。

特に認知症介護における夜間徘徊の介護負担を軽減します。徘徊を抑止する業務に追われてしまい、他の業務に手がまわらなくなる問題を解消し、夜間徘徊を「夜間歩行練習」とすることで身体拘束を無くしていきます。

### 理由3 転倒事故を防ぐことで損害賠償訴訟を回避します。

サービス利用者の転倒事故は、訴訟問題に発展すると、経営法人が敗訴する可能性が極めて高い事例です。転倒事故を防ぐことで損害賠償訴訟を回避いたします。

## ●施設での転倒に関する全国の判例事例

### 介護老人保健施設での転倒事故

介護老人保健施設に入所中の 95 歳の女性が、自室のポータブルトイレの排泄物を捨てるために汚物処理室に赴いた際に仕切りに足を引っかけて転倒し負傷したという事故について、施設経営法人に対し、債務不履行および土地工作物の管理責任に基づき、537 万 2543 円の損害賠償を命じた事例である。(福島地裁白河支部判決平成 15 年 6 月 3 日)

『判例時報』1838 号 116 ページ

### 通所介護サービス施設内での高齢者の転倒における経営者の責任

通所介護サービスを受けていた高齢者(事故当時 95 歳・女性)が、静養室での昼寝から目覚めた際、従業員が十分にその動静を監視していなかった過失により、静養室入口の段差から転落し負傷したものとして、介護施設の債務不履行責任が肯定された事例(感謝料合計 470 万円を認容)である。(福岡地方裁判所平成 15 年 8 月 27 日判決)『判例時報』1843 号 133 ページ

独立行政法人 国民生活センターWEB「相談事例・判例」より

## 京都認定商品 (チャレンジ・バイ認定商品)

歩行器補助シートRKL「アルケル」は京都府認定商品です。

### チャレンジ・バイとは

京都府が京都府内中小企業の優れた新商品・新サービスを公表・PRし、府庁での率先購入・活用枠の設定その他販売促進を強力に支援する制度で一般商品との差額の1/2以内が助成されます。

### お問い合わせは……

京都府商工労働観光部  
ものづくり振興課  
TEL : 075-414-5103

アルケルの  
お問い合わせは

RKL  
Rehabilitation  
with Kindly Love

株式会社 RKL

〒610-0332 京都府京田辺市興戸地藏谷1番地  
同志社大学京田辺キャンパス業成館 D-egg 311号室  
TEL:080-4015-9943 FAX:075-320-1522 <http://www.rkl.jp>